

単元名 すきな ところを 見つけよう

配当時間 8時間

- 単元の目標 (1) 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。
 (2) 場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像し、内容の大体を捉えることができる。
 (3) 場面の様子に着目し、好きな場面を音読しようとする。

標準的な展開例

01010302_001

【教材名】 たぬきの 糸車 (下 P.74～P.85)

【準備等】 すきなところカード

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 「たぬきの糸車」を読んで、学習の見通しをもつ。 ★好きなところを見付けて、みんなに知らせよう。 ○教師の範読を聞いて、あらすじをつかむ。</p> <p>○学習の見通しをもつ。 ○好きなところを見付け、文章に線を引く。</p> <p>2～5 みんなの「すきなところ」のおもしろさを伝え合う。 ○全文を場面に分ける。</p> <p>○場面ごとに、「たぬきがしたこと」と「おかみさんがおもったこと」を考える。</p> <p>6 「すきなところ」カードを作る。 ○改めて好きなところを選び、カードに文を写す。 ○裏に絵を描いてカードを仕上げる。</p> <p>7～8 カードをつなげて紹介する。 ○グループの中で、お話の筋が通るように、カードの順番を決める。 ○自分が選んだ文を読む練習をする。</p> <p>○グループごとに紙芝居風に発表する。</p> <p>○学習を振り返る。</p>	<p>・挿絵を手がかりにして、文章の大体を捉えさせる。</p> <p>・教科書の六つの挿絵と、文章を照らし合わせ場面の番号を書かせる。 ・「たぬきがしたこと」を整理し、「おかみさん」の心情の変化に着目させる。 ・なぜ登場人物がそのような行動をとったのかも想像させる。 【評】場面ごとに読み取る活動を通して、場面の様子や登場人物の行動など内容の大体を捉える「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・文に合うような絵を描かせる。</p> <p>・グループは、4～6人で構成する。</p> <p>・グループ内で音読を聞き、助言し合うようにさせる。 ・会話だけでなく、「キークルクル」「くるりくるり」「びよんぴよこ」などの擬声語や擬態語にも着目して読ませる。 ・声の大きさや読む速さを考えて練習させる。</p> <p>【評】音読を練習する活動を通して、場面の様子に着目して、好きな場面を音読しようとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>【評】「すきなところ」カードを発表する活動を通して、語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する「知識・技能」を評価する。</p> <p>・教科書(P.84)の「たいせつ」で、お話にはまとまりがあることを確認する。</p>

【 備 考 】